



学校だより

令和5年 9月1日
練馬区立北町西小学校
校長 小松田 早苗
第723号

北西小 HP

URL



一つ一つの生命に思いを寄せて

校長 小松田 早苗

今年の夏は「記録的」「命の危険にかかわる」「過去に経験したことのない」といった言葉に形容される厳しい暑さでした。水の事故や熱中症のニュースも相次ぎ、心配の尽きない夏休みでしたが、子供たちの笑顔を見ることができ、ほっとしています。各ご家庭ではいろいろな配慮をしながら、子供たちの生活を見守っていらっしゃったことと思います。大切な命を守ることにについて考える機会もあったのではないのでしょうか。

さて、道端や校庭の隅でセミの抜け殻を拾っては、嬉しそうに見せてくれる低学年の児童がいます。きっと、昆虫の姿をそのままかたどった、不思議な宝物なのでしょう。ご存知のようにセミは地上で卵を産み、幼虫にかえると土の中に潜って数年を過ごします。いよいよ最後の脱皮をする時がくると、幼虫は地面から出てきて、羽化をして成虫になります。抜け殻はよく目にしますが、羽化は夜間に行われるので、実際にその様子を見たことのない人も多いかもしれません。毎年、地域では夏休みに「セミの観察会」を開催し、おやじの会の方々が中心となって子供たちにセミの羽化を見る貴重な体験の機会を提供してくださっています。私も、今年初めて参加し、その場面に立ち会うことができました。

日が沈む頃、羽化直前の幼虫が地面から出てきて木などに登り始めます。しばらく動き回っていた幼虫の動きが止まり、背中が割れると羽化の始まりです。時間の経過とともにゆっくりと変化していきます。縮まっていた翅（はね）が広がりきると、まるで白いマントをまとったような、みずみずしい成虫の姿になっていました。参加した子供たちや保護者の方たちも、その姿を目の当たりにして喜びの声を上げたり、写真を撮ったりして羽化を見守りました。その後、セミは羽が乾いて次第に色が濃くなり、そのまま朝まで体が堅くなるのを待ってから飛び立ちます。ですから、木々や地面に残された抜け殻は、神秘的な生命のドラマがあったことを示す足跡です。もし、同じようにセミの抜け殻を見付けても、こうした体験や知識がある人となない人とは、小さな生物の生命や自然への見方、考え方は全く違ったものになるはずです。

北町西小学校では、年間を通して教科の学習や学校行事で「生命の尊重」をねらいとした様々な学習に取り組んでいます。病気やけがの予防、事故や災害への備えだけでなく、いじめや犯罪の防止、自然環境の保全、戦争のない平和な社会の実現…。関連する内容は多岐にわたり、自分には関係ないことだと通り過ぎることはできない大切な問題ばかりです。例えば、6年生は水泳学習で「着衣泳」を行い、水難の疑似体験から命を守る方法を考えました。また、ゲストティーチャーをお招きしての「原爆先生の授業」や「命の授業」では、戦争体験や闘病体験を伝える活動をしている方に、直接お話を伺う予定です。その方の生命に対する思いや願いを受け止める経験を共有することで、どの子にも、自ら関心をもち、自分事として自他の生命について真剣に考える貴重な機会にしてもらいたいと強く願っています。

まだ、しばらく厳しい暑さは続きそうですが、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

9月の行事予定

日	月		火		水		木		金		土	
									1	式	2	
									始業式 安全指導 給食なし			
									4	4	4	4
3	4		短	5		学	6		短	7		学
	給食なし 保護者会 (1・2・3) 13:30～14:30 (4・5・6) 14:40～15:40 ALT ことば通級始 身体測定(1)		給食始 ALT 身体測定(2)		6時間授業(6) 4時間授業(1～5) 連合水泳記録会(6) ALT		大根種まき体験(3) 身体測定(4)		下水道出前授業(4) 身体測定(5)		学校公開 区一斉防災訓練	
	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
10	11		ユニ セフ	12		学	13		短	14		ロン グ中
	ユニセフ募金告知 ALT 身体測定(6)		社会科見学(5) ユニセフ募金始 ALT		スーパーマーケット見学(3-1) ALT		たてわり遊び 登下校重点指導 下校指導(4・5・6) ユニセフ終 身体測定(3)		プール納め 委員会⑤			
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
17	18			19		朝	20		短	21		学
	敬老の日		北西ペア交流始 登下校重点指導 下校指導(1・2・3) ALT		ペア交流(1・6)① スーパーマーケット見学(3-2) ALT		スーパーマーケット見学(3-3) 情報モラル講習会(5)		体力向上旬間(ギネス)始 クラブ④		秋分の日	
				5	5	5	5	5	5	5	5	5
24	25		朝	26		学	27		短	28		学
	ALT		ペア交流会(3・4)① ALT		ALT		ペア交流会(1・6)②		ペア交流会(2・5)① クラブ⑤			
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

朝…朝会 学…朝学習 体…体育朝会 短…短縮時程 ロング中休み…朝学習なし、3校時から通常時程
()内の数字は該当学年

日付下部の数字は左から順に第1学年から第6学年までの授業時間

※クラブ・委員会のある日は、授業は5時間ですが、実質6時間目終了後と同等の下校時刻になります。

〈スクールカウンセラー 来校予定〉

9月4日(月) 11日(月) 25日(月)

※お問い合わせ スクールカウンセラー直通番号 TEL 090-7196-9537

登下校と挨拶

生活指導主任 高橋 純子

夏休みが終わり、2学期が始まりました。今朝、子供たちはどんな表情で「おはよう。」を言ったでしょうか。

9月の生活目標は「すすんであいさつをしよう」です。これほどIT化の進んだ時代であっても、人間関係を作っていくための一番最初は「あいさつ」です。笑顔であいさつをすれば、相手を元気にすることができます。だからこそ大人が率先して子供たちに元気に笑顔であいさつをすることが大切です。

「おはよう。」「いただきます。」「ただいま。」など基本的な「あいさつ」について、学校でも繰り返し指導していきます。ご家庭でもお話してみてください。

子供の発達と表現

図工専科 日下 美和

子供の描く絵の世界は大変興味深いものです。特に10歳までは、大人のように目で見ただけではなく、心で見えたものが描ける貴重な時間です。

有名な画家ピカソは「子供は誰でも芸術家だ。問題は大人になっても芸術家でいられるかどうかだ。」晩年には「この歳になって、やっと子供らしい絵が描けるようになった。」と語っています。感じたままに描く…そんな貴重な時間。それ以降は、見たままに描きたいという要求が生まれ、それまでの心で見えた表現は失われていきます。

一生のうちでたった10年しかできない貴重な表現。子供が自分の作品について語るとき、とても雄弁で楽しそうです。そんな貴重な時間を大事にしていきたいと考えています。

2学期はどんな作品が生まれるか楽しみです。